

第2回日本てんかん学会東北地方会プログラム

日時： 2008年7月5日（土） 午後1時～

場所： 江陽グランドホテル4階 銀河の間

（宮城県仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL：022-267-5111）

会長： 東北大学大学院医学研究科神経外科学分野 教授 富永悌二

開会 13:00

シンポジウム： てんかん診療の啓発をどう進めるか （13:00～14:00）

座長 富永悌二 萩野谷和裕

- 1) 脳神経外科一般医への啓発をどう進めるか 中里信和（広南病院脳神経外科）
- 2) 精神科一般医への啓発をどう進めるか 管るみ子（板倉病院精神科）
- 3) 小児科一般医への啓発をどう進めるか 萩野谷和裕（拓桃医療療育センター小児科）
- 4) 神経内科一般医への啓発をどう進めるか 池田昭夫（京都大学神経内科）

一般演題Ⅰ （14:00～14:45）

座長 宇留野勝久

- 1) Gabapentin, Topiramate の使用経験
独立行政法人国立病院機構山形病院てんかんセンター
宇留野勝久 守川新人
- 2) 内田クレベリン検査でミオクロニー発作が賦活されたてんかん症例
てんかん専門病院ベーター
戸村幸恵 金澤清香 高橋まゆみ 曾我孝志
- 3) 終板硬化に伴う内側側頭葉てんかんの外科治療例
広南病院脳神経外科 同神経内科 仙台医療センター臨床検査科
岩崎真樹 中里信和 大沼歩 鈴木博義 藤原悟 富永悌二

一般演題Ⅱ （14:45～15:30）

座長 植松貢

- 4) 診断未決定な Rasmussen 症候群類似例
岩手医科大学小児科
赤坂真奈美 亀井淳 千田勝一
- 5) PB 大量と臭化カリウムが無効でケトン食療法が有効だった Pachygyria の1例
秋田大学医学部小児科
矢野珠巨 沢石由記夫 渡部泰弘 稲見育大 高橋郁子 高橋勉
- 6) 先天性第Ⅴ因子欠損症による脳実質内と硬膜下の多発出血後、寛解した West 症候群の1女児例
東北大学小児科
植松貢 福與なおみ 萩野谷和裕 土屋滋

会員総会 （15:30～15:45）

閉会 15:45

連絡先：

〒982-8523 宮城県仙台市太白区長町南4丁目20-1

財団法人広南会広南病院

第2回日本てんかん学会東北地方会事務局（岩崎真樹）

電話 022-248-2131 FAX 022-248-1966